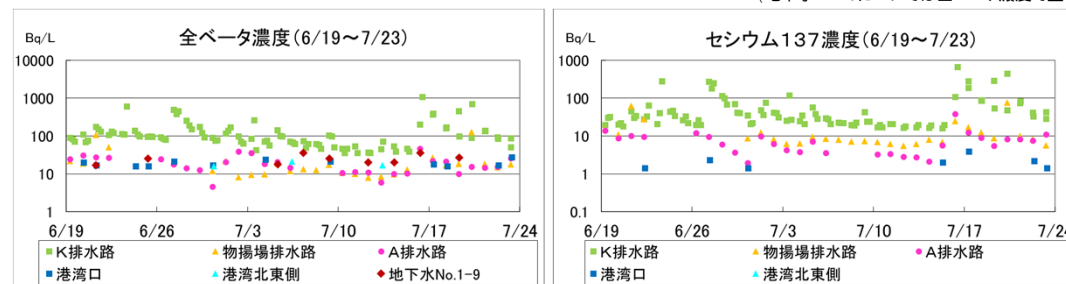


- 前回(6月25日公表)以降、「周辺の放射性物質の分析結果」および「日々の放射性物質の分析結果」のデータ約4,500件を公開しました。
- この間、右の「A 水(海水、排水路、地下水等)」でお示している通り、排水路の濃度が上昇している日がありますが、これは降雨により表層土が流入したことによるものと考えております。
- このうち、7月16日には、K排水路に設置したC排水路への移送ポンプの移送量を超える強い降雨により、K排水路に設置した堰から外洋側へ一部排水されていることを確認しました。
- いずれの日においても、港湾口や港湾外では有意な変動は確認されておりません。また、翌日には、各排水路において低下傾向を示しております。

## A 水(海水、排水路、地下水等)

・降雨により排水路で濃度上昇が見られたが、港湾外では上昇は見られなかった。

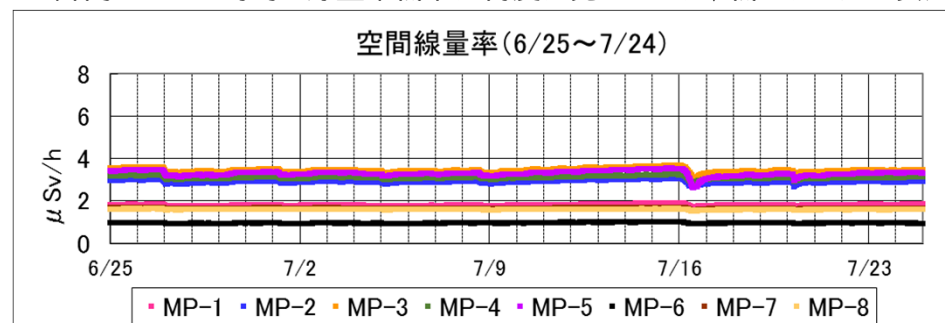
(地下水 1-9については全ベータ濃度で監視)



降雨の影響で排水路の濃度が上昇した日: 6/23, 6/27, 7/3, 7/16, 7/20の5日間

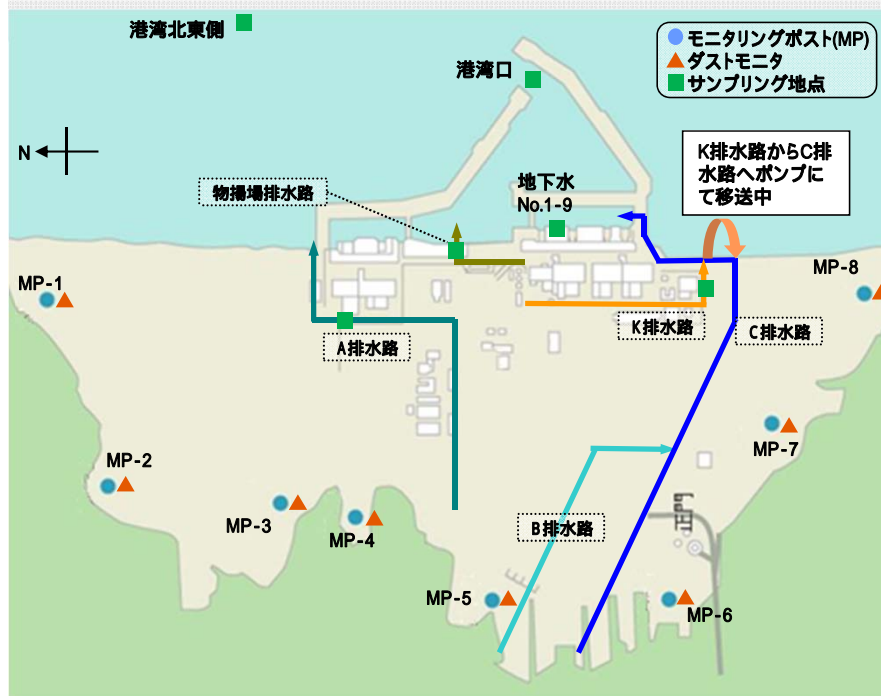
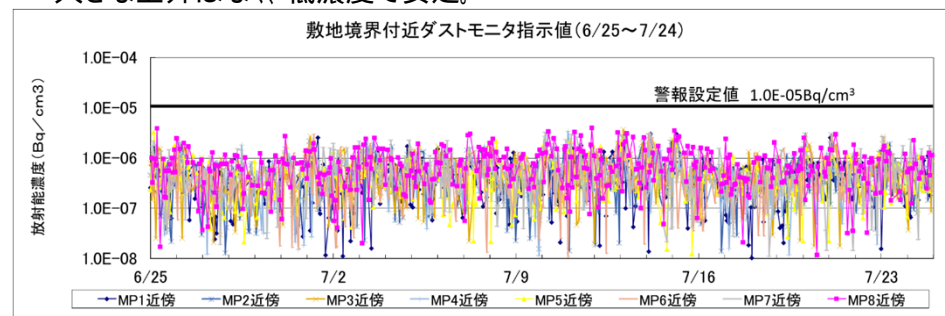
## B 空間線量率

・降雨による一時的な線量率低下が何度か見られたが、低いレベルで安定。



## C 空気中の放射性物質

・大きな上昇はなく、低濃度で安定。



データ採取位置図(右のA、B、Cに対応するポイント)